

2017年6月9日

SAGA 建設技術フェア 2017 に出展します

青木あすなろ建設株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：上野康信）は、『豊かで安全な暮らしを支える建設技術』をテーマに開催される「SAGA 建設技術フェア 2017」に出展いたします。

今年で3回目の開催となる「SAGA 建設技術フェア 2017」は、建設分野（土木・建築）の技術・工法・製品などについて、産・学・官における技術情報の交流の場を提供し、技術開発や新技術導入の促進を図ることで建設産業の発展に寄与するとともに、学生・一般の方々に建設業界の魅力や社会資本整備の必要性を認識してもらうことを目的としています。当社の出展内容は次のとおりとなります。

出展内容 ①ダイス・ロッド式摩擦ダンパーを用いた橋梁耐震工法

②水陸両用機械工法

③風力・太陽光施工技術

※ 出展する工法の詳細は次ページに記載のとおりです。

< SAGA 建設技術フェア 2017 概要 >

開催日時 : 2017年6月14日(水)・6月15日(木)


開催会場 : マリトピア

(佐賀県佐賀市新栄東3丁目7-8)

主催者 : 公益財団法人佐賀県建設技術支援機構

公式HP : <https://www.sagacat.or.jp/fair.html>

※ 工法詳細

<p>① ダイス・ロッド式摩擦ダンパーを用いた 橋梁耐震工法</p>	<p>出展内容</p>
	<p>当社独自の「ダイス・ロッド式摩擦ダンパー」を用いて、既設橋梁の耐震性を向上させる技術です。</p> <p>近年、地震直後における公共インフラの機能維持が課題となっています。当社は、既設橋梁の支承部に「ダイス・ロッド式摩擦ダンパー」を設置することで耐震性能を向上させ、地震直後も交通機能を維持できる耐震補強工法を、首都高速道路(株)と共同開発しました。</p>
<p>② 水陸両用機械工法</p>	<p>出展内容</p>
	<p>陸上機械や作業船では施工困難な浅水域を作業領域とする水陸両用ブルドーザ・遠隔操縦式水陸両用バックホウを用いた工法です。</p> <p>遠隔操作技術により危険箇所の施工を可能とし、仮設材の低減や作業の効率化を可能とします。</p> <p>また、現存する水陸両用ブルドーザは当社が保有する5台のみとなります。</p>
<p>③ 風力・太陽光施工技術</p>	<p>出展内容</p>
	<p>地球温暖化対策として注目されているクリーンエネルギー（風力・太陽光）発電所を全国各地に建設しています。</p> <p>発電所建設の候補地調査から建設計画の提案、開発許可の取得支援を行い、発電所敷地造成等建設工事を担っております。</p> <p>これまでに全国で風力発電所 19 箇所（490MW）、太陽光発電所 26 箇所（462MW）を取り組み、現在建設中を除く 38 発電所が稼働しております。</p>

以上